



MGU Chapel Letter

—第 53 号 2025 年 9 月 17 日— 発行：大学宗教センター



* 2025 年度 年間聖句 *

「あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯（ともしび）。」

詩編 119 編 105 節



後期の礼拝は 9 月 22 日（月）から！！

9 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

- ・ 9 月 22 日（月） 平賀 真理子（学院宗教主事）
- ・ 9 月 24 日（水） 松本 周 （一般教育部教授）
- ・ 9 月 26 日（金） 栗原 健 （大学宗教センター長）
- ・ 9 月 29 日（月） 佐々木 哲夫（学院長・宗教総主事）

~~~~~

- ・ 10 月 1 日（水） 加藤 秀久 （仙台南伝道所牧師）
- ・ 10 月 3 日（金） 清水 禎文 （教育学部教授）

後期の礼拝は 1 月 14 日（水）まで合計 35 回行われます。

12 月 18 日（木）には大学クリスマス礼拝も持たれます。

ぜひご出席下さい。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL：022-279-9558

Email：[christ-c@mgu.ac.jp](mailto:christ-c@mgu.ac.jp)

## ✦ 「建学の精神」を思い出そう ✦



宮城学院は来年 2026 年の 9 月 18 日に創立 140 周年を迎えます。私たちは明治 19 年以来、多くの先輩たちが引き継いで来たバトンを受け取って、今こうして大学で学んでいるのですね。

ここで思い出したいのが、本学の「建学の精神」です。覚えているでしょうか。入学の時に必ず聞いている、「本学は、この使命を果たすために教育を行っていく！」という信念を示した大切なステートメントです。

「福音主義キリスト教に基づいて学校教育を行い、神を畏れ敬い、自由かつ謙虚に真理を探究し、隣人愛に立ってすべての人の人格を尊重し、人類の福祉と世界の平和に貢献する女性を育成すること。」

「難しそうなことを言っているなあ」と思った人もいると思います。「私はキリスト教徒じゃないから、そんなふうに言われてもピンと来ない」と感じるかも知れません。しかし、ここで言われていることは、実は私たちの毎日の学びの土台となることです。

キリスト教のメッセージを一言でまとめると、「神に愛されていることを知って、愛する者となる」と言うことができます。神は私のことを大切な、価値ある存在として創って下さった。私が自分自身のことを愛することができない時でも、神は私のことを愛して下さっている。このことを示しているのが、イエス・キリストの十字架と復活です。この愛を深く知ることによって、他者のことも大切にする心を養い、共に生きる社会を造っていく。自分のためにも他者のためにも、居場所を作ることができる人間となる。それが、この「建学の精神」に表されている願いです。

私たちは大学で、さまざまな専門的知識を学んでいます。それらは、単に将来就職して生計を立てるための準備ではありません。人文系の学びは、「自分自身や他の人、異なる文化をもっと深く理解し、共生する」ことを目指すもの、技術系であれば、「専門技術を活かして社会を豊かにし、互いに支え合えるようになる」ためのものです。つきつめれば、全ての学びは「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く」（ローマの信徒への手紙 12 章 15 節）人となるための営みだと言えますね。

学びを続けていると、「なんのために勉強しているんだろう」と疑問に思えて来て、気落ちしてしまうこともあるかも知れません。そのような時にはこの「建学の精神」を思い出し、神の愛の中で身心を休め、力を取り戻しましょう。（栗）